



福島 隆史 (ふくしま・たかし)

公認会計士。(株)サステナビリティ会計事務所／サスティービー・コミュニケーションズ(株)代表取締役としてコンサル／レポート制作／保証を行なう。著書「CSRエピソード」幻冬舎 2017年。

## 新潮流と中小企業

# 日本が優先的に取り組むべきゴール

HAKUCHO-SEI

SDGsのゴール1は「貧困」、ゴール2は「飢餓」…という読み上げで、くと、その最初の段階で、先進国である日本にとってSDGsは関係のないものではないかとおっしゃる経営者の方がいらっしゃいます。あるいは、世界の課題に遠い位置にある日本がそれでも取り組む、という姿勢について、偽善的でボズにしか過ぎないのではないか、と評価している方も現実にいらっしゃいます。そういうた方向々に向けてぜひこのSDGsゴール1との達成度評価です。

ますね、という評価です。

・ゴール17：パートナーシップ関係では、途上国に十分に手を差し伸べているとは言えませんね、という評価がされています。

また、ゴール10：不平等の状況については、トレンドで見て悪化している傾向にある、との評価もなされています。

これらの各ゴールは、世界から見て日本は遅れている、と見なされていますから、これらに取り組むことはSDGsの精神である、最も遅れているところに着手する、とで誰一人取り残さない世界を目指す、といつゝことにも合致するものと思します。

なお、同じSDGsにおいて、日本が高評価を取けている「ゴールが」あります

の、「」と紹介したこと思っています。

・ゴール4：教育体制は各国の比較から見て素晴らしい、と評価されています。

・ゴール9：インベーショナルな社会基盤つくりは素晴らしいと評価されています。

こういった世界からの評価を励みに、SDGsゴール達成に向けた取り組みを行なっています。

・ゴール12：エネルギーを大量消費するなどして地球温暖化に加担している

・ゴール13：エネルギーを大量消費す

## SDGs (持続可能な開発目標)

### Sustainable Development Goals

2015年国連が採択した持続可能な開発のための  
2030年アジェンダ

